

# WebSphere® Process Server for Multiplatforms



バージョン 6.1.2

## クイック・スタート・ガイド

IBM® WebSphere® Process Server のインストールおよび構成を始めるときに参照していただくガイドです。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート CD にある PDF ファイルにアクセスしてください。

### 製品の概要

WebSphere Process Server は、次世代のビジネス・プロセス統合サーバーであり、実績のあるビジネス・インテグレーション概念、アプリケーション・サーバー・テクノロジー、および最新のオープン・スタンダードを基に進化した製品です。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアおよび文書の入手



製品を Passport Advantage® からダウンロードする場合は、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。  
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&uid=swg24019046>

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- クイック・スタート CD
- WebSphere Process Server 6.1.2 (IBM Message Service Client for .NET 1.2.6、IBM Message Service Client for C/C++ 1.2.7、IBM Installation Factory for WebSphere Process Server、IBM Update Installer for WebSphere Software、および IBM User Interface Help System Built on Eclipse 3.1.1 を含む)
- WebSphere Application Server Network Deployment 6.1 (IBM HTTP Server 6.1、Web サーバー・プラグイン 6.1、Application Server クライアント 6.1、Application Server Toolkit 6.1.1、Edge Components 6.1、および IBM Rational® Agent Controller 6.1.5 を含む)
- DB2® Restricted Enterprise Server Edition 9.5
- IBM Tivoli® Directory Server 6.0
- IBM Tivoli Access Manager for e-Business 6.0
- WebSphere Partner Gateway Advanced Edition 6.1.1

これらのコンポーネントの一部はオプションであり、使用するかどうかはお客様の選択する構成に応じて異なります。WebSphere Process Server 製品ライセンスを見直し、製品に含まれるすべてのソフトウェア・コンポーネントの使用制限を理解していることを確認してください。ご使用のプラットフォームに対して提供されるコンポーネントの完全なリストについては、WebSphere Process Server の資料の『WebSphere Process Server のパッケージ化 (Packaging for WebSphere Process Server)』を参照してください ([http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/dmndhelp/v6r1mx/index.jsp?topic=/com.ibm.websphere.wps.612.doc/doc/cins\\_packaging.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/dmndhelp/v6r1mx/index.jsp?topic=/com.ibm.websphere.wps.612.doc/doc/cins_packaging.html))。インストール手順などの文書一式については、WebSphere Process Server インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library>) を参照してください。

### 2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



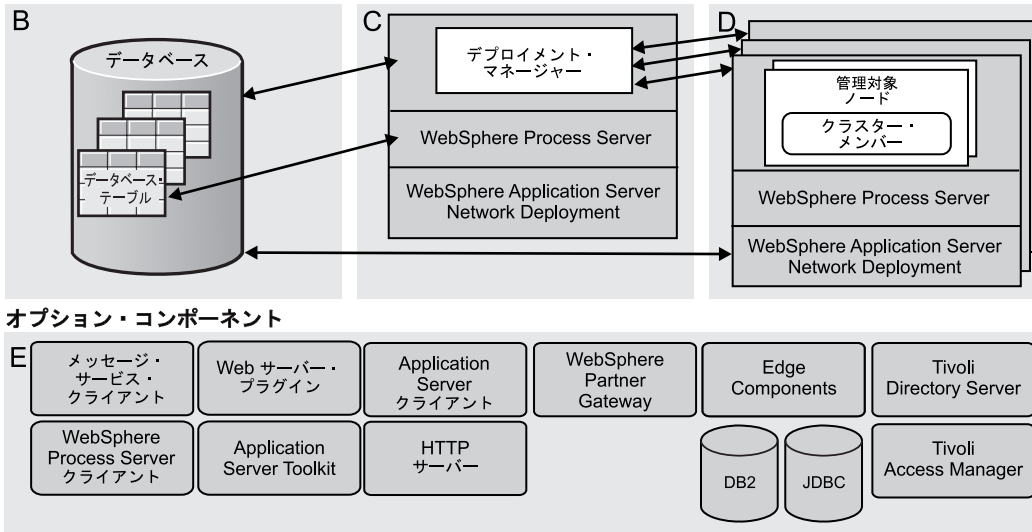
システム要件に関する詳細な資料は、以下のリンクを参照してください。 <http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27006205>

### 3 ステップ 3: 基本アーキテクチャーとインストール・ステップの確認



この例では、複数のホストを持つデプロイメント環境を示します。本セクションの図は、システムのトポロジーおよび構成の一例を示しています。これ以外のトポロジーも使用可能です。必ず WebSphere Process Server 製品ライセンスを見直し、選択したトポロジーをサポートするために十分な数の許可を取得していることを確認してください。

#### WebSphere Process Server のインストール



WebSphere Process Server をインストールするには、以下の上位手順を実行してください。

- インストールおよびデプロイメント環境についての計画を立てます。WebSphere Process Server インフォメーション・センターの「デプロイメント環境の計画 (Planning your deployment environment)」を参照してください。
- 既存のデータベース製品、例えば DB2 をインストールまたは使用します。データベース製品の資料を参照してください。Derby Network Server データベース製品は、基盤となる WebSphere Application Server Network Deployment のインストールと共にインストールされ、デプロイメント環境インストール中にデフォルト・データベースとして選択されます。
- デプロイメント・マネージャーを作成するホストで、ルート・ディレクトリーまたは電子イメージを解凍した場所からランチパッド・ファイルを開始します。ランチパッドからインストール・ウィザードを開始し、「デプロイメント環境インストール」を選択します。インストール・ウィザードのパネルに従い、オプション「デプロイメント・マネージャーを作成し、デプロイメント環境パターンを選択する (Create a deployment manager and select a deployment environment pattern)」を選択します。インストール・ウィザードに従い、手順 A で決定した要件に応じて、デプロイメント環境パターンを選択するためのセレクションを行います。デプロイメント・マネージャーを開始します。データベースに Derby Network Server 製品を使用する場合は、最初に Derby Network Server を始動する必要があります。
- その他の各ホストでインストール・ウィザードを開始し、「デプロイメント環境インストール」インストール・タイプを選択します。インストール・ウィザードのパネルに従い、オプション「カスタム・プロファイルを作成し、デプロイメント環境内のクラスター・メンバーを選択する (Create a custom profile and choose the cluster members within the deployment environment)」を選択します。インストール・ウィザードに従ってインストールを続行し、デプロイメント・マネージャーに使用したパターンに基づくクラスターを構成します。
- オプション: 使用環境に応じて必要な追加コンポーネントをインストールします。

#### その他の情報



その他のテクニカル・リソースについては、以下のリンクを参照してください。

- IBM Education Assistant <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ieduasst/v1r1m0/>
- WebSphere Application Server の資料 <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v6r1>

